

医療機関の働き方改革セミナー

令和3年2月2日（火）オンライン開催 <看護職編 取組事例>

医療機関の働き方改革セミナー看護師編

看護師の視点から 働き方改革を考える ～IT化に焦点を当てて～

聖マリアンナ医科大学病院

副院長 兼 看護部長 本館 教子

本日の内容

- **トップマネジメント層の率先したICT活用**
理事長企画懇談会始動
- **未来型病院構想検討チームの発足**
PJM5.0始動
- **様々な取り組み**
各部署のヒアリングからの対応策実施
- **看護師専従者の配置**
現場目線の改善策の実行



★トップマネジメント層の率先したICT活用

- ・ガラ携からスマホへ
 - ・情報のクラウド格納(紙資料の撲滅)
 - ・会議のペーパーレス化
 - ・電子稟議システム導入
- など

組織幹部らがICTを積極的に活用することで推進を後押し

2



理事長企画懇談会始動

今後3年間の重点取組み 『強い大学』に向けての基盤強化

イノベーション7

1. 病院リニューアルをきっかけとした病院改革の推進
2. ICT活用による医学教育環境の圧倒的な充実
3. 女性研究者の積極的登用をはじめとしたダイバーシティ拡充
4. 業務効率の徹底的追求と無駄の排除←看護部が参加
5. 財務体質のさらなる強化による利益体質への完全脱皮
6. 「働き方改革」を先取りした新しい人事制度の設計・導入
7. 中長期展望からの積極的な戦略的投資(人・モノ・金・情報)の敢行

3



法人内イノベーション7

テーマ④

業務効率の徹底的追求と無駄の排除

～ 看護部 ～

4



目的と目標

目的: 看護師がハッピーに、やりがいを感じられる職場を!

目的達成にむけ、“NHP:Nurse Happy Project”
として活動を開始!
下記4点を徹底的に追及します。

- 看護業務の効率化
- 看護業務の時間短縮
- 看護動線の適正化
- 看護業務の無駄の排除

目標: 看護師の職員満足度調査の「総合満足度」が 15ポイント向上!

当面の目標として、毎年(9月)実施している看護師職員
満足度調査の項目「総合満足度」が、**3年以内に 15ポイ
ント向上**することを目標とします。



5

A病棟での取り組みのご紹介

6

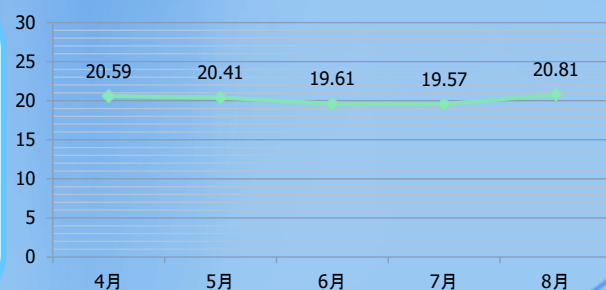
病棟概要

	A	B	C(GHCU)	
病床数	44	29	8	合計81床
平均在院日数	10.22	5.36	1.50	
病床稼働率	89.48%	84.56%	120.48% (最大%)	20××年4月～20××年8月までの平均値 (医事課データ)
回転率	1.25	2.38	20.198	
死亡退院率	2.63%	4.25%		

【看護師属性】

20××年9月 68名
(うち新人9名+院内異動2名)
時短1名 / パート2名
日勤のみ勤務6名

20××年 GHCU回転率



7

病棟 目標施策体系図



アミボイス(音声入力)の効果的な活用について

1) 効果的な使用場面

- ①トイレ付き添いの待ち時間
- ②エレベーターの待ち時間
- ③ケア時の皮膚観察状態をその場で
- ④ストーマ装具交換時 ストーマサイズや装具の品番等をメモ代わりに
- ⑤ナースコールの対応～訪室までの移動時間
- ⑥「ちょっと見てください」のその移動時間
- ⑦転棟から戻るなど移動時間
- ⑧食事介助の合間に 摂取状況も記録可能
- ⑨部屋と部屋や次の患者さんのところへ訪室する移動時間

アミボイス(音声入力)の効果的な活用について②

2)看護記録(SOAP)以外の入力

①転倒転落定期評価入力(カルテ)とSOAP記録に対応可能

例)「歩行状態安定し、転倒リスク低いため計画での介入必要なし」

「ルート類の留置あり、歩行状態不安定であり転倒リスク高い

②OH定期評価入力(カルテ)とSOAP記録に対応可能

例 「自力で除圧できず褥瘡形成リスク高く予防介入必要」

「離床は図れているが栄養状態の低下あり介入必要」

「リスク低く介入必要なし」

同じ文言が使用できそうな患者に応用ができ記録時間の短縮

アミボイス(音声入力)の効果的な活用について③

③ストーマ看護記録やストーマサイズをメモ代わりに

ペアリングで一人が実践、もう一人が記録

④退院支援カンファレンスのカンファレンス内容

⑤退院支援カンファレンスの「退院支援計画書 不要」などの付箋にも対応

⑥看護サマリー入力

二画面PCでない時はより効果的 カルテを見ながらしゃべるだけ

⑦内服カンファレンス記録

「ADL自立、理解力問題なし、退院に向けて〇月〇日定時より自己管理

チェック開始」などを同内容の複数患者に使用可

⑧医療安全レポート(経過、感想)

⑨院内メール

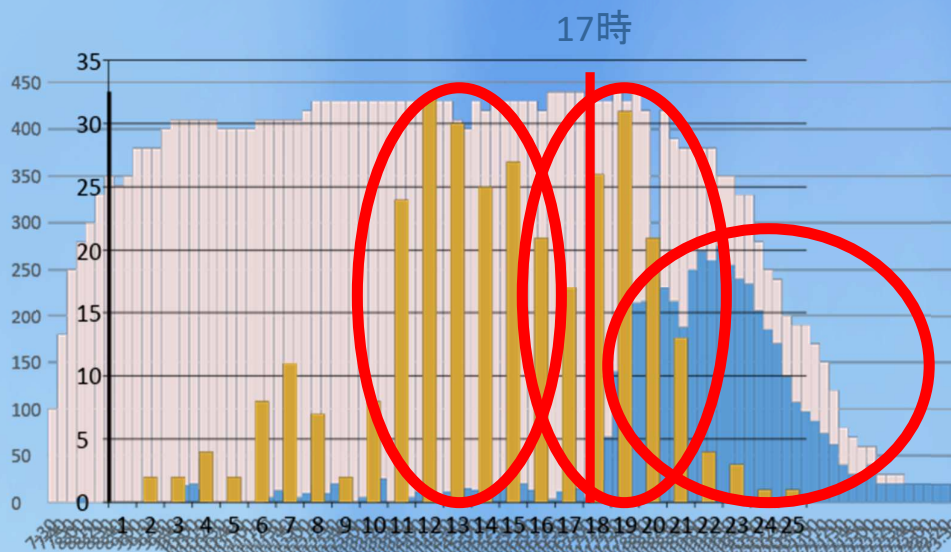
テンプレートの作成、活用

今までPCでしか使用できなかったテンプレートをアミボイスに導入
必要最低限の記録、観察項目は担保
話す文字数を少なくし、「あり」「なし」などのみ入力する

例)

- ・消化器外科術後テンプレート
- ・転倒転落
- ・OH評価
- ・せん妄

施策施行後 病棟記録時間(1週間)



結果

- 事実を可視化し、大胆な発想の転換を行うことが業務改善につながるということがわかった。
- 結果、看護記録の音声入力を含めた様々な業務改善で、昨年度は一昨年度より月一人あたりの超過勤務が3時間削減された。

* 現在多職種でも試用中

14



★未来型病院構想検討チームの発足

PJM (Project Marianna) 5.0

- ・職種、職位に関係なく、外部専門家も交えて新しい病院に熱い思いを持ったメンバーを招集
- ・定例会を開催して理想的な病院の実現を目指した活発な意見交換実施

メンバー: 病院長、副院長、看護部長、
医師(外科・内科、救命)、看護師(外来、病棟)
薬剤師、コメディカル、管理課、医事課、財務部
ICT戦略パートナー など

15

PJM5.0のある日の検討会内容

本日のAgenda

1. 再掲：本検討会の4つのテーマ
2. 個別検討：病棟（未来志向の病棟とは）
 1. 圧倒的な医療安全・ノーリスク
 2. 徹底的な患者志向
 3. 最高の医療教育環境の提供
 4. 最高の研究成果創出環境の提供
3. 今後の検討会スケジュール

さらなるICT活用に向けた仕掛け 中長期デジタルホスピタル推進計画



★様々な取り組み

取り組んだもの その1

- マリアンナポータル開設
- Gメールの付与
- 当直室予約管理
- 会議室予約管理
- ipadの活用
 - 患者家族連携
 - 教職員間コミュニケーション活性化に活用
- コロナ支援サイトの開設と応援メッセージの共有
- Webカメラによるリモートモニタリングの充実

18

取り組んだもの その2

- Googleフォームの活用
- オンライン会議
- MDIS(Marianna Disaster Information System)の充実(災害関連情報の集約化)
- 音声入力の導入
- チャットシステムの導入
- コミュニケーションツールの活用
- IT戦略室への専従看護師の配置

19

全職員へのGoogleアカウントの付与

- 教職員及び学生にマリアンナ専用のGoogleアカウント(@marianna-u.ac.jp)を付与

このアカウントを用いてメールサービス(Gmail)やオンラインストレージサービス(Googleドライブ)などのコンテンツが利用できるようになった。

マリアンナポータル

- マリアンナポータルとは「教職員が日常よく利用するコンテンツのショートカット集」

マリアンナポータルはマリアンナのアカウント(@marianna-u.ac.jp)でしか利用できない

コンテンツとは特定のホームページサイト、ツール(内線検索、X-POINTなど)



IT化されると便利なものは……？

● 看護職員からヒアリング

- ① 会議室管轄部署に電話がつながりにくい、時間外は予約できない。重複している場合、交渉が面倒。
- ② ベットコントロール時に空床を確認する場合、各部署ごとの画面を開かないと確認できない。電子カルテの機能を追加すると費用が掛かる。
- ③ 仮眠室の予約は、表に記入する方式。部署ごとにベット割されていて、効率的な運用ができない
- ④ 夜間急患入院時にモニターが必要な場合、中央管理室や複数部署に電話をし、探している現状あり

22

項目	内容	アイコン
会議室	いつでもだれでも予約可能、重複して予約したい場合、直接交渉可	 会議室利用状況
空床管理	一覧で空床が確認できる。個室・男女別の部屋が閲覧可能	 空床管理
仮眠室	いつでもだれでも予約可能、部署の割り当てをなくしベッドも有効活用	 当直室予約管理 男性職員用 当直室予約管理 女性職員用
モニター管理	中央管理室・各部署の在庫状況が一覧で把握可能	 貸出モニター利用状況

23

申請・確認が簡単に！

いつでもどこでも
確認可能



FX-Ware Web 明細

原議書の
ペーパーレス化



X-point Cloud

マリアンナアカウント
を申請



学内 LAN 接続申請

自己学習ツール
も手軽に活用



e-learning



1分でバッチリ！
業務便利技

Googleの
機能を集約

安全管理の強化

- MDIS(Marianna Disaster Information System)
- Early Warning System

場所	警報	状況	対応	備考
1号館	高	中	低	
2号館	高	中	低	
3号館	高	中	低	
4号館	高	中	低	
5号館	高	中	低	
6号館	高	中	低	
7号館	高	中	低	
8号館	高	中	低	
9号館	高	中	低	
10号館	高	中	低	

MDISについて

2020.4.21～

COVID-19情報サイト公開中！

MDIS Marianna Disaster Information System

聖マリアンナ医科大学 災害情報システム

MDIS (Marianna Disaster Information System)

NEWS ～サイト更新情報～ [ここをクリック！](#)

★医療安全管理室に災害対策担当者を配置

ホーム

動画配信機能 (Google Meet)

安否報告入力フォーム

被災状況報告・集計画面

情報伝達情報共有画面
(本部時系列記録)

診療継続機能情報画面

安否報告集計画面 (閲覧
制限あり)

MDISアクセス方法・ア
イコン作成方法手順

26

安全管理の強化 コロナ対応 オンライン会議と情報共有の一元化

COVID-19情報サイト

ホーム

安否報告入力フォーム

被災状況報告・集計画面

情報伝達情報共有画面 (本部時系列記録)

診療継続機能情報画面

安否報告集計画面 (閲覧制限あり)

MDISアクセス方法・アイコン作成方法手順

緊急連絡先

COVID-19情報サイト

検索

23

27

★看護師専従者の配置

リニューアルをきっかけに中長期的な展望を見据え、病院業務の抜本の見直しと改善に着手
大きな鍵はICTの活用！
ICTの技術やツールをどのように活用するのか、
病院内で最大集団である看護師の視点は重要

IT戦略室に看護師一名を配置した
“ITナース”と命名

出向期限を決める
看護部活動の参加度や業務評価方法を検討
PJM5.0のメンバーから選出

28

ITナースの活動


- 電子カルテ関連
標準看護計画の整備 その他
- 音声入力の評価
テンプレート作成
活用方法の提案
状況調査と評価
- COVID19関連...記録による負担軽減を図った
記録テンプレート
ケアセット
看護診断 等の作成
- IT-NURSE通信
ITリテラシー向上を目的に発行

29

まとめ 1

看護部門だけが 良い環境になればいいのか
答えは “ NO ”

前提には

他職種連携は、Key 

- ・共通の能力
- ・個々の専門能力
- ・協働する能力

職種役割を全うする
自職種を省みる
他職種を理解する
関係性に働きかける

2016年3月31日第1版「医療保健福祉分野の多職種連携コンピテンシー」から

30

まとめ 2

- めざすところ

「職員がHappyで

やりがいを感じられる職場づくり」

ICTの利活用
デジタルホスピタルの
実現！

こうあるべき

面倒

漠然とした
負担感

こうしてきた

習慣

ZEROベース思考で、
看護師の行動変容に
大きな影響を与えるITの
活用を推進したい！

31